

# 平成30年度 公益財団法人焼津市振興公社事業報告

## 1. 総括事項

公益財団法人焼津市振興公社は、定款第3条の目的を達成するため、平成30年度において概ね次のような事業を行いました。

### (1) 地域文化の振興（公益目的事業）

焼津文化会館及び大井川文化会館ミュージコでは、国内外の優れた芸術文化の鑑賞機会を広く市民に提供するとともに、市民の芸術文化活動を支援するため自主文化事業を鑑賞型、市民参加型、普及・協働型と位置づけ、バランスよく積極的に実施しました。

事業の実施については、市民の要求と経済性を考慮した上で良質な事業を企画し、他の団体・機関との共催事業を含め72本（焼津45本・大井川27本）の自主文化事業を行い、多くの市民の鑑賞・協力・参加を得て、好評を博しました。また、若年層に良質な文化催事を提供するため学生支援事業や乳幼児育児中家族を対象としたコンサートも開催しました。個別事業内容については、焼津文化会館分は27ページから29ページ、大井川文化会館ミュージコ分は33ページから34ページに記載いたしました。

自主文化事業の公演情報を広く周知するため、焼津文化会館・大井川文化会館ミュージコ統一情報紙「いべにゅ」を志太・榛原地区を中心に新聞折込にて毎月1回発行しました。

### 1 鑑賞型

国内外の優れたクラシック、芸能・演芸、ポピュラーなど多彩な事業を展開しました。

クラシックでは、「オーボエ四重奏コンサート」「千住真理子・長谷川陽子・仲道郁代コンサート」「小林沙羅ソプラノリサイタル」「山形由美フルートトリオ・コンサート」「野田あすかピアノ・リサイタル」等を開催しました。

芸能・演芸では、「焼津寄席 文珍・昇太 東西会」「サンクトペテルブルグ国立舞台サーカス」「梅沢富美男劇団公演」「大井川寄席」等を開催しました。

ポピュラーでは、「玉置浩二」「アラウンド40メモリアルコンサート」「南こうせつ」「吉田兄弟×レ・フレール」等を開催しました。

### 2 市民参加型

市民の文化活動の促進と地域文化の活性化を図るため、ワークショップや市民自らが公演に参加・出演する事業を展開しました。

アマチュアコンサートでは、「第27回ミュージコ吹奏楽フェスティバル」「第27回ミュージコピアノマラソン」等を開催しました。

ポピュラーでは、ボランティア団体サポートクラブの協力を得て「ロビーコンサート」

等を開催しました。

### 3 普及・協働型

普及を目的に無料講座、無料公演など市民に広く芸術文化に親しんでいただく事業を展開しました。

映画では、「なつかしの映画劇場」を開催しました。

ポピュラーでは、「ママと一緒に初めてのコンサート」等を開催しました。

天文科学館においては、一層充実した科学教育の機会を利用者に提供し、子どもたちの天文や科学に対する興味・関心を高めることを心掛けた事業展開に努めました。個別の事業内容については、38 ページから 40 ページに記載いたしました。

#### 1 学校連携事業

利用団体（小中学校）の希望を受け、科学工作を体験できる「わくわくワークショップ」21 件、学校の希望に応じた出張講座を 20 件実施したほか、総合学習 8 件 19 人、職場体験学習 3 件 12 人を受け入れました。また、「宇宙の日」全国小中学校作文絵画コンテスト（絵画の部）では、416 点の応募があり、科学館表彰式並びに応募作品の展示を行いました。

さらに、天文をテーマにした「ディスカバリー新聞」を年 6 回発行し、市内小中学校に掲出しました。

#### 2 児童生徒への理科支援事業

結成 2 年目となる「日本宇宙少年団焼津分団」は、17 人の団員により県外研修を含め、年間 12 回の活動を行いました。また、毎年好評を得ている「小学生のための星空教室」や「夏休みの理科自由研究相談会」も実施しました。

JAXA 名誉教授の川泰宣氏を招いた「こども宇宙教室 2018」は満席となり、大変好評でした。また、学習指導要領改訂に合わせ実施した「ロボットをプログラムしよう！」も好調で、定員を上回る応募があり、参加者が積極的に取り組む姿が見られました。

#### 3 生涯学習支援事業

星空案内人資格認定講座「大人のための天文教室+（プラス）」は、星空案内人 2 名、準案内人 16 名の資格認定を行いました。また、日本の系外惑星探査の第 1 人者の井田茂氏を招いた「天文科学講演会」と「サイエンスカフェ」では、天文や宇宙に高い関心を持つ多くの参加者に満足していただきました。さらに恒例のサイエンスフェスティバルにも多数の方が訪れ、様々なブースの体験を通じて科学に親しむ機会を満喫していました。

繁忙期等に実施した科学工作コーナーは、前年度を上回る 8,687 人の参加があり、その運営に関わっている天文科学館ボランティア（登録 54 名）が、焼津市教育文化奨励賞を受

賞しました。

#### 4 天文台事業

15年ぶりの火星大接近に伴い、火星特別観望会を2日に渡り開催し、合計524人の参加者がありました。毎週土日の夜の星空観望会も好調で、前年度を大幅に上回る参加者となりました。また、平成31年1月6日には部分日食が起こり、観察会に73人の来館者が訪れました。

#### 5 プラネタリウム事業

「生解説プラネタリウム」では、はやぶさ2や火星大接近を取り上げた番組や、初の試みである、観覧者が番組の進行をサイコロで決める「宇宙探検サイコロの旅」などを制作・投影しました。また、高精細CG投影機を活用した「CGドームシアター」では、学校の長期休業期間やゴールデンウィーク、秋の連休中は子供たちに人気のアニメ番組を投影するとともに、大人を中心とした利用者層には“癒し”をテーマにした「CGドームシアター・ヒーリング」の投影枠を設け、好評を得ました。

さらに、特別番組として「オーロラトークライブ」「浅野祥 天河に響け 津軽三味線の調べ」や「スターライト・バレンタイン 星空に響く二胡の調べ」やオリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業として「モンゴルの星空と馬頭琴」など、様々な切り口から天文に触れる機会の提供に努めました。「団体投影」では、一般団体・幼稚園団体向け投影をはじめ、小中学校の担当教諭との事前打ち合わせを基に100件を超える学習投影を実施するなど、前年度を大きく上回る観覧者数となりました。

#### 6 展示・体験室事業

特別展では、以前実施して好評を博した「コロコロランド」の第2弾「コロコロランド2」、昆虫をテーマにした初の試みである「クワガタ・カブトムシ王国」と立て続けに前年度を上回る入場者でしたが、秋・冬の特別展の入場者及び、実験ショーやなぜなぜ工房の参加者が伸び悩んだことから、結果的には前年度並みの参加者数となりました。

#### 7 情報発信事業

情報紙「DISCOVERY」と幼児用情報紙「おほしさま」を統合し効率化を図るとともに、プラネタリウムパンフレットをリニューアルし、わかり易さと内容の充実を図りました。

また、ホームページ、ツイッター、フェイスブックにより、運営情報や天文科学情報の発信にも努めました。

## (2) 公の施設等の管理運営の受託（公益目的事業、収益事業）

焼津市の文化芸術の拠点施設である文化センターの施設管理と焼津、大井川両文化会館の運営、天文科学館の管理運営、ディスカバリーパーク焼津内の公園・広場の維持管理を受託しました。

両文化会館及び天文科学館の施設運営につきましては、市民の様々な要求と期待に添うことができるよう、複合施設としての機能を生かすとともに、弾力的、効果的な運営に努めました。その結果として、年間利用者が、焼津文化会館では 232,171 人、大井川文化会館では、95,386 人、天文科学館では、129,155 人となりました。特に天文科学館の有料入場者数が 4 年連続で 12 万人台を超え、温水プールと合わせ有料入場者が 400 万人を達成したため、記念セレモニーを実施しました。

会館別利用者数については、焼津文化会館は 30～32 ページ、大井川文化会館は 35～37 ページ、天文科学館が 41～42 ページに記載いたしました。

ディスカバリーパーク焼津の公園においては、樹木・芝の定期的な手入れや、公園清掃を実施しました。また、台風被害等による倒木処理及び、駐車場等の外構修繕を実施しました。

## (3) 物品販売事業（収益事業）

公社の安定財源確保のため、管理施設内の自動販売機 19 台による飲料等の販売及び天文科学館の売店にて天文グッズ等の販売を実施しました。

飲料等の自動販売機を屋内外に設置し来館者の利便性向上を図りました。

天文科学館の売店については、特別展等のタイアップ商品をはじめ、星座早見や組み立て望遠鏡、実験キットなど天文・科学への興味を喚起する商品や学習に役立つ書籍等を取り扱うことで事業との相乗効果を図りました。

<附属明細書の作成について>

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附則明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。